広報日造協

緑豊かでゆとりと潤いのある快適な環境と美しい景観の創造をめざして

日造協ニュース

Japan Landscape Contractors Association NEWS

2026.11月
通巻 第632号

発行：一般社団法人日本造園建設業協会　編集：広報活動部会　http://www.jalc.or.jp
〒113-0033　東京都文京区本郷3-15-2　本郷二村ビル4階　TEL:03-5684-0011　FAX：03-5684-0012

本号の主な内容

2面 【学会の目・眼・芽】インベントリーづくりを通してランドスケープを語ろう
（公社）日本造園学会理事、奈良県立大学地域創造学部教授　井原 縁
「総支部長・支部長会議」と「全国事務局長会議」の合同会議を初めて開催
花と緑のつどい開催　ご来賓多数、関係者約130名が参加
第43回「全国都市緑化フェア in 京都丹波」拠点会場の1つ「亀岡運動公園」を視察
3面 第21回　全国造園フェスティバル　各地の開催概要のご紹介
4面【ふるさと自慢】 古戦場、屋敷林と石積み…　小矢部の車窓から
富山県支部　五天 みな子（㈱越路ガーデン）
【緑滴】ミツバチの８の字ダンスの研究
千葉県支部　新宅 羽夕（藤木園緑化土木㈱）

EXPO 2027 YOKOHAMA JAPAN

©Expo 2027

みどりの都市 全国大会開催

都市緑化功労者大臣表彰を吉村昌洋氏が受賞



全国大会の第二部の冒頭であいさつする髙梨雅明（一社）日本公園緑地協会会長

「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会は（一社）日本公園緑地協会の主催で、10月30日㈭に東京都港区の日本消防会館で開催した。

第一部の事例発表会に続き、第二部の全国大会は、主催者の髙梨雅明（一社）日本公園緑地協会会長のあいさつの後、来賓の塩見英之国土交通事務次官が祝辞、表彰が行われた。

表彰では日造協から、「令和８年度都市緑化及び都市公園等整備・保全・美化運動における都市緑化功労者国土交通大臣表彰」を吉村昌洋氏（64）㈱皆楽園（熊本県）が受賞。「第42回都市公園等コンクール」では７賞を受賞した（別表）。



功労者表彰受賞の吉村氏と日造協役員

その後大会では、2027年国際園芸博覧会 GREEN × EXPO ラボチェアパーソンで東京都市大学学長付客員教授の涌井史郎氏が講演。都市公園コンクール、緑の都市賞の受賞者から、２つの報告が行われた。

第42回　都市公園等コンクール　日造協関係受賞者

国土交通省都市局長賞	施工部門「名城公園北園エントランス及び芝生広場」	名古屋市緑政土木局緑地部緑地事業課、**岩間造園㈱**、㈱本陣
	特定テーマ部門「児童が挑戦！進化するインクルーシブひろば」	富山県、**㈱野上緑化**、富山市立新保小学校
	特定テーマ部門「公民連携による子育て空間の創出－長岡公園再整備」	長岡京市、㈱村田製作所、㈱空間総研、㈱SALHAUS、**㈱日比谷アメニス**
国土交通省都市局長賞	施工部門「和田堀公園園地整備工事（その２－２）」	日比谷・伍楽・八海建設共同企業体 構成団体：**㈱日比谷アメニス**、**㈱伍楽園**、㈱八海樹園
	材料・工法・施設部門「生田緑地でのナラ枯れ材を活用した木質舗装」	ニチレキ㈱、川崎市建設緑政局緑政部生田緑地整備事務所、**㈱相光園**
（一社）日本公園緑地協会会長賞	設計部門「磯上公園再整備～みどりの癒し空間の創出～」	神戸市、Kurisu LLC、**関西造園土木㈱**、（一社）神戸市造園協力会、㈱空間創研
	特定テーマ部門「札幌市初・Park-PFIを活用した百合が原公園整備運営事業」	㈱YURIGAHARA PARK FUTURE LAB、（一社）SAPPORO PLACEMAKING LABO、㈱SOUSHINホールディングス、㈱commons fun、丸美珈琲㈲、㈱どんぐりHD、アイビック食品㈱、㈱コクサク

令和８年度 優秀施工者 国土交通大臣顕彰

建設マスター日造協から15氏が受賞

令和８年度優秀施工者国土交通大臣顕彰式典が10月14日㈫、文京シビックホールで行われた。

日造協からは、建設マスターに、山口英勝・㈱ヤマカツ、山下得男・㈱富士植木、中島久雄・㈱花園グリーンサービス、松戸義仁・㈱新松戸造園、小川幸彦・㈱庭萬、伊藤直樹・花文造園土木㈱、高山尚宏・中西宝山園㈱、楠井民夫・㈱庭樹園、田部宏和・㈱南国緑地建設、片岡成文・㈱双葉造園、一瀬宏二・㈱西鉄グリーン土木、塩田和輝・㈱別府梢風園、久冨誠・㈱フクユー緑地、金城健太郎・金城グリーン㈱の14氏、建設マスタージュニアに長田航大氏・㈱西鉄グリーン土木が受賞した。

式典では須藤明夫不動産・建設経済局長からの優秀施工者国土交通大臣顕彰の表彰状の授与が行われた。

樹林

（一社）日本造園建設業協会理事
㈱四宮造園　代表取締役　四宮　繁



みどり〔造園〕と子どもたち－未来へつなぐ緑の学び

我々の業界は、庭園や公園、街路樹などの緑を整備・維持するだけでなく、人と自然をつなぎ、豊かな暮らしを支える重要な役割を担っています。その価値は景観の美しさにとどまらず、環境保全や防災、生物多様性の保全、さらには地域コミュニティの形成にも及びひいては、未来を担う子どもたちへ「緑の大切さ」を伝え、その心を育むことではないかと思っております。

◆

近年、都市化や生活環境の変化により、子どもたちが自然と触れ合う機会は少なくなっています。土に触れ、木々の香りを感じ、四季の移ろいを肌で感じる経験は、以前に比べて減少していると言われています。

しかし、自然の中で遊び、学ぶことは、豊かな感性や観察力、命を尊ぶ心を育むために欠かせません。木々の成長や花の開花、昆虫や野鳥との出会いは、教室では得られない多くの学びを与えてくれます。

◆

我々だからこそ提供できる体験があります。植樹活動や花壇づくり、公園の維持管理体験、樹木の観察会などを通して、子どもたちは「緑は自然に存在するもの」のみではなく、「多くの人の手によって守り育てられているもの」であることも知ります。

自分たちが植えた木や花が成長していく姿を見守ることは、責任感や達成感を育み、地域への愛着にもつながり、地域の緑を守ることを使命として、日々、公園や街路樹、公共施設などの維持管理に取り組み「緑」に限りない愛情を注いでいる人達のいることを学びます。

樹木の健康状態を見極めながら適切な管理を行い、安全で快適な環境を維持することはもちろん、人々が安心して自然と親しめる空間づくりにも力を注いでいます。緑は人々に安らぎを与えるだけでなく、子どもたちの遊び場や学びの場としても大切な役割を果たしています。

◆

地域の学校や自治体、各種団体と連携した緑化活動は、一人ひとりが緑を守る意識を持つことで、美しい景観や豊かな自然環境は次の世代へと受け継がれていきます。子どもたちの小さな体験は、やがて地域全体を支える大きな力へと成長していくことでしょう。

一本の木が大きく育つまでには長い年月が必要です。それと同じように、自然を思いやる心や地域を愛する気持ちも、一つひとつの経験を積み重ねながら育まれていきます。

私たち造園業の仕事は、木を植え、育てるだけではありません。人と自然を結び、人と人をつなぎ、未来へ続く豊かな環境を築くことにあります。

◆

造園フェスティバルの開催をはじめ、出前講座や見学会などを通じて、造園のPRをしっかり行い、子どもたちが造園という仕事に興味を持ち、緑を守り育てることの意義を理解することは、持続可能な緑づくり、地域づくりの第一歩となります。

今、決意を新たに地域社会とのつながりを大切にしながら、次世代へ緑の価値と造園の魅力を伝え続けていきたいと考えています。

2026年　秋の叙勲・褒章

日造協から田中資康氏、山田拓広氏が受章

2026秋の叙勲・褒章受章者が発表され、日造協関係では、２氏が受章の栄に輝いた。

【黄綬褒章】田中資康（61）㈱タナカ築庭（茨城県）、山田拓広（61）花豊造園㈱（京都府）



田中 資康 氏



山田 拓広 氏

2027 新年造園人の集い

2027年１月５日㈫ 17:50 より

品川プリンスホテル
東京都港区高輪４-10-30
☎ 03-3440-1111

全国総支部長・支部長・事務局等合同会議

総支部長・支部長会議と全国事務局長会議を一体化しての合同会議を初めて開催



全国総支部長・支部長・事務局等合同会議の冒頭であいさつする和田新也会長

10月9日㈮、令和8年度全国総支部長・支部長・事務局等合同会議を全国緑化フェアin京都の会場である京都府亀岡市のサンガスタジアムにおいて開催した。

今回は初めて総支部長・支部長会議と全国事務局長会議を合同で開催し、対面とオンラインを併用したハイブリッド形式で実施した。会議ではまず各総支部・支部からの報告に続き、本部からの依頼事項や情報提供について説明がされた。その後GREEN × EXPO協会の鈴木武彦部長より、開催半年前を迎えたGREEN × EXPO 2027の準備状況など、最新情報が紹介された。

最後に佐賀県支部の久保支部長より2028年春開催予定の「第44回全国都市緑化フェアfrom SAGA」について紹介が行われ、「全国の皆様のお越しを、佐賀でお待ちしております。」と呼びかけた。

第43回「全国都市緑化フェアin京都丹波」拠点会場の1つ「亀岡運動公園」を視察



全国造園デザインコンクールの緑化フェア「みどりの広場」プラン賞を具現化した庭園

第43回「全国都市緑化フェアin京都丹波」の開催に合わせて10月9日㈮の午前9時からフェアの5つの拠点の一つ「亀岡運動公園」を視察した。

公園にはメインガーデンをはじめ、企業・団体庭園、自治体出展花壇など、多彩な庭園や花壇が集まり、日造協会員の庭園も多数出展。日造協主催・全国造園デザインコンクールの緑化フェア「みどりの広場」プラン賞を受賞した桐畑一希さん（京都府立農芸高等学校）の作品を京都府支部が作庭した庭園も展示され、10月6、7日には佳子内親王殿下が庭園をご覧になられ、桐畑さんが保津川やカメをイメージした石張りなどの説明を行った。



視察参加者での集合写真

花と緑のつどい開催

ご来賓多数、関係者約130名が参加

日造協の「花と緑のつどい」が10月9日㈮、亀岡市のサンガスタジアム「VIPラウンジ」で開催され、約130名が参加して、盛大に行われた。

つどいは、日造協京都府支部の河原多加男氏の司会進行で、入谷芳郎近畿総支部長が開会のことば、和田新也会長が主催者あいさつ。来賓の方々からは、舟久保敏国土交通省都市局公園緑地・景観課長、鈴木一弥京都府副知事、桂川孝裕亀岡市長、小池政則（公財）2027年国際園芸博覧会協会事務次長より、ご祝辞をいただいた。

その後、来賓紹介、祝電披露、乾杯となり、森本幸裕（公財）京都市都市緑化協会理事長の乾杯の発声で、歓談の場となり、井内優副会長の閉会のことばで散会した。



会場となったサンガスタジアム



入谷芳郎近畿総支部長



和田新也会長



舟久保敏課長



鈴木一弥副知事



桂川孝裕亀岡市長



小池政則事務次長



森本幸裕理事長

学会の目・眼・芽　第155回

インベントリーづくりを通してランドスケープを語ろう

（公社）日本造園学会理事、奈良県立大学地域創造学部教授　井原　縁



関西圏を中心に、史跡・名勝等、各地域の文化遺産を基盤とした風景づくりに関する調査研究ならびに保存・活用・整備にかかる計画策定に主に従事

2010年、全国のランドスケープ遺産をインベントリー（目録）として整備していこうという動きが日本造園学会で本格化し、「ランドスケープ遺産インベントリー作成委員会」が設置された。

この取り組みは各支部の活動を基盤とするものであり、当方が所属する関西支部では、これに先立つ2009年に有志による「ランドスケープ遺産研究会世話人会」を立ち上げ、近畿・中国・四国地域の多様な遺産の把握や評価に向けた議論を始めていた。

その後、支部大会に併せた公開研究会等を通じて意見交換を重ね、2014年には「ランドスケープ遺産研究部会」が正式に設置された。

◆

この部会で特に大切にしてきたのは、造園・ランドスケープに関わる産官学の専門家それぞれの「眼」、すなわち多様な「ランドスケープの見かた」である。立場や経験によって異なる視点を持ち寄り、価値を共有することに面白さがあると考え、インベントリーづくりを会員同士の交流の場とすることも目指してきた。

2015年には実務者へのアンケート調査や産官学によるワークショップを実施し、価値を見出す視点について議論を深めた。こうした活動を通じ、地域らしさの維持・継承につながるものをランドスケープ「資産」として捉え、自然と人間との関係性を軸に「人が集う」「人が愛でる」「人が営む」「人が伝える」の4つのカテゴリーで事例を整理するようになった。

現在は専用ウェブサイトを公開しており、「研究者の眼」「実務者の眼」の2つの視点から、推薦者自身の写真と言葉で多様なランドスケープの価値を伝える記事を定期的に更新している。

◆

一方、全国では2024年度から「ランドスケープ遺産インベントリー委員会」へと名称を変更し、インベントリーづくりと併せて、ランドスケープ遺産全般について幅広い視点から議論する場としての役割をより明確にした。さらに2026年10月には、本部委員会と関西支部部会の協働により、公開研究会兼勉強会「ランドスケープを語ろう」が開催された。

各支部から持ち寄られた事例をもとに、関西支部の部会メンバーも討論の進行を担い、学術的価値だけでなく、風景への感動や愛着、共感といった視点からもランドスケープの価値を捉えることを試みた。

今後も各支部の取り組みや知見をつなぎ、「ランドスケープの見かた」の面白さを共有しながら、インベントリーづくりを楽しみながら続けていきたい。



本部委員会と関西支部部会の協働による「ランドスケープを語ろう」の様子

第 21 回　全国造園フェスティバル　各地の開催概要のご紹介

フェスティバル当日の様子を一覧形式で一部をご紹介します（ご連絡いただいた開催予定を掲載しています）

都道府県	開催日	開催場所
北海道	8/1	国営滝野すずらん丘陵公園
岩手県	10/24,25	仙北地区活動センター
宮城県	10/18	国営みちのく杜の湖畔公園
秋田県	10/24,25	秋田市千秋公園
山形県	10/3	庄内空港緩衝緑地
福島県	11/3	あづま総合運動公園
茨城県	9/26	笠松運動公園
群馬県	11/29	群馬県立金山総合公園
埼玉県	11/15	所沢航空記念公園
千葉県	10/3	千葉県立行田公園
千葉県	10/17	千葉県立手賀沼自然ふれあい緑道
千葉県	10/17	北総花の丘公園
千葉県	10/11,12	天沼弁天池公園
千葉県	12/20	県立幕張海浜公園
東京都	5/30,31	世田谷公園
東京都	6/7,8	東久留米市役所

都道府県	開催日	開催場所
東京都	10/4	豊島区役所
東京都	10/17,18	都立木場公園
東京都	10/18	都立戸山公園
東京都	10/24	豊洲ぐるり公園
東京都	10/24	日比谷公園
東京都	11/3	町田市鶴間公園
東京都	11/7,8	代々木公園
神奈川県	10/11	長井海の手公園　ソレイユの丘
神奈川県	10/25	県立相模原公園
山梨県	10/17	小瀬スポーツ公園
新潟県	10/10	国営越後丘陵公園
富山県	9/26	富山駅イベントスペース
石川県	9/23	西部緑地公園
石川県	10/12	奥卯辰山健民公園
岐阜県	11/7	オアシスパーク
静岡県	10/17,18	浜松アクト通り　東ふれあい公園

都道府県	開催日	開催場所
愛知県	10/17	国営木曽三川公園　フラワーパーク江南
三重県	10/17	北勢中央公園
福井県	10/17	ハピリン（ハピテラス）
滋賀県	10/12	彦根市荒神山公園
大阪府	11/1	大阪市浪速区 立葉公園＆立葉小学校
和歌山県	10/3	和歌山マリーナシティ　いこらストリート
岡山県	10/25	倉敷みらい公園
広島県	9/19	広島市森林公園
広島県	10/10	国営備北丘陵公園
鳥取県	10/18	とっとり花回廊
島根県	10/11	くにびきメッセ
島根県	11/15	島根県立西部高等技術
山口県	10/18	亀山公園ふれあい広場
山口県	10/18,19	下関市ゆめ広場
徳島県	10/3	あすたむらんど徳島
香川県	10/10	国営讃岐まんのう公園

都道府県	開催日	開催場所
香川県	10/18	高松市立仏生山公園
高知県	10/10	東洋電化中央公園
高知県	10/24	高知県立 池公園
愛媛県	10/31	愛媛県立とべ動物園
福岡県	10/25	国営海の中道海浜公園
佐賀県	9/26,27	佐賀県立森林公園
佐賀県	10/10,11,12	佐賀県立吉野ケ里歴史公園
佐賀県	10/24	佐賀駅前広場
佐賀県	11/2,3	佐賀駅前広場
長崎県	10/17,18	長崎県庁１階エントランス
熊本県	11/21	花畑広場
宮崎県	10/12	宮崎県総合文化公園
宮崎県	11/14	宮崎県総合文化公園
鹿児島県	10/3	鹿児島市　センテラス天文館
沖縄県	11/15	宜野湾海浜公園

北海道 8/1 国営滝野すずらん丘陵公園

朝から小雨が降り、気温も低めの一日となりましたが、時折日差しも見られました。来園者数は例年を下回ったものの、高所作業車の乗車体験は予約がいっぱいになるほどの人気を集め、来園者の皆様に貴重な体験の機会を提供することができました。



山形県　10/3　庄内空港緩衝緑地

ブルーベリーの苗木や花のタネのプレゼント、共催によるツリークライミング体験、コキアを使ったホウキづくり体験などを開催しました。天候にも恵まれ、親子連れを中心に多くの皆様に楽しんでいただきました。



茨城県　9/26　笠松運動公園

雨天の影響により、開始当初は来場者の出足がやや遅かったものの、ハロウィンツリー作成は子どもたちに大変人気があり、多くの参加が見られた。また、花苗の配布も好評で、いずれも例年同様に盛況でした。



千葉県　10/3　千葉県立行田公園

2027 年国際園芸博覧会の PR・告知を兼ねて、謎解きラリー（スタンプラリー）を実施しました。また、植樹体験やグラウンド・ゴルフ体験教室も開催しました。当日は天候にも恵まれ、多くの公園利用者の皆様にご参加いただきました。



東京都　10/17,18　都立木場公園

特定外来生物であるクビアカツヤカミキリとナガエツルノゲイトウに関するクイズを実施しました。クイズに参加した来園者には風船を無料で配布し、予定していた風船がなくなるほど多くの方にご参加いただきました。



広島県　9/19　広島市森林公園

高所作業車の体験会を開催しました。当日は朝から曇りがちの天候で、公園全体の来園者は少なめでしたが、体験に参加した親子連れの方々に、造園業でも高所作業車を使用して樹木の剪定や伐採を行っていることを紹介することができました。



佐賀県　10/10,11,12 吉野ヶ里歴史公園

手押し式芝刈り機の操作体験と高所作業車の搭乗体験を実施しました。また、芝刈り機３台とバックホウ１台を展示し、「はたらく車」の紹介コーナーを設けました。子どもたちには自由に乗車してもらい、写真撮影を楽しんでいただきました。



鹿児島県　10/3　センテラス天文館

「住まいと建築展」の中でフルハーネス体験や、建築展の模型展示（大学等）の中で緑地帯形成を紹介しました。花や野菜の種、お菓子の無料配布を実施し、多くの家族連れに喜んでいただきました。



GREEN × EXPO 2027　花・緑出展　日造協本部出展場所を引渡

展示プラン

全国造園デザインコンクール 園芸博覧会プラン賞４作品が決定

２０２７年国際園芸博覧会（GREEN × EXPO 2027）の開催に向け、10 月 14 日㈮、花・緑出展における本部出展場所の引き渡しが行われました。

翌 15 日㈯には、全国造園デザインコンクール審査会において「２０２７年国際園芸博覧会「自然の恵み広場」プラン賞」の４作品が決定しました。受賞された４作品は別表のとおりです。

選ばれた４作品は、園芸博覧会の会場でカタチになります。今後の進捗につきましては、本誌などを通じて順次お知らせします。

「巡る庭」　堀越　晴也さん（群馬県立藤岡北高等学校２年）

「里山の庭～自然とともに生きる喜びを未来へつなぐ～」　反町　恵永さん（神奈川県立相原高等学校３年）

「再会」　今井　楓子さん（群馬県立勢多農林高等学校２年）

「土－生命の始まり－」　小川　優愛さん、青木　斗和さん（群馬県立勢多農林高等学校１年）



引き渡された出展場所。ここに４つのプランを具現化した庭園を作庭する

ふるさと自慢 富山県

古戦場、屋敷林と石積み…小矢部の車窓から



小矢部川と高架



クロスランドタワーと立山連峰





玉石積み㊤と散居村の光景㊦

庭づくりに魅せられ、石川県からお隣の富山県小矢部市にある造園会社に通っています。通勤中、国道８号線に乗り県境を越えると右手に見えてくるのが倶利伽羅峠の古戦場です。

◆

源平合戦の舞台となった場所ですが、ここで 800 年以上も前に死闘が繰り広げられたと思うと歴史のロマンを感じずにはいられません。

ちなみに、小矢部市のマスコットキャラクターの「メルギューくん」は、この戦いで木曽義仲が牛の角に松明をつけて平家を襲ったという火牛がモチーフだとか。

◆

山道を抜けると砺波平野が広がります。ゆるやかに流れる小矢部川と高架を走る北陸新幹線、すっきりと晴れた日には立山連峰が姿を見せてくれます。

この平野の代名詞といえるのが、田んぼの中に屋敷林に囲まれた農家がぽつりぽつりと点在する散居村の光景です。

それぞれの民家に注目すると、1 軒 1 軒の大きさもさることながら、周りを囲む石積みが独特なことに気づきます。直径 50cm を超える大きな庄川の玉石を整然と積んだ玉石積みです。今ではこうした積み方をできる職人さんも少なくなっているとのこと。散居とともに、この地の宝であると思えます。

◆

春の田植えの時期、水が張られた散居村の田んぼは鏡面のように光り、夏には青々と、秋には金色に、冬には真っ白な雪景色となります。ここで収穫されるお米の美味しさは言わずもがなでしょう。

四季の変化を感じながら、通勤・退勤する時間は豊かなひとときとなっています。

富山県支部　五天 みな子
（㈱越路ガーデン）

緑滴

ミツバチの８の字ダンスの研究

千葉県支部
新宅 羽夕
藤木園緑化土木㈱



皆さんは、ミツバチが蜜のある花の場所を仲間にどう伝えているかご存じですか？

◆

1973 年、フリッシュ博士は、ミツバチが「8 の字ダンス」で蜜源の方向や距離を仲間に伝えることを明らかにし、ノーベル生理学・医学賞を受賞しました。ミツバチは、お尻を振りながら進む向きで方向を、お尻を振る時間の長さで距離を伝えるのです。

◆

私は玉川大学昆虫学研究室で佐々木正己教授のご指導の下、フリッシュ博士の実験を日本の在来種であるニホンミツバチに応用し、養蜂のために導入されたセイヨウミツバチとの違いを研究しました。

実験は、花の少ない夏に栃木県大田原市の広大な水田地帯で行いました。巣板を観察できるガラス張りの巣箱を設置し、蜜を載せたトレーの場所を覚えさせ、少しずつ遠くへ移動。蜜を吸ったミツバチには番号シールを貼り、トランシーバーで巣の前の観察者に番号を伝えます。そして、その番号のミツバチが巣に帰ってきて行うダンスを観察し、お尻を振る時間を測定。一本道に誘導してからは、車のボンネットにトレーを載せ、そろそろと車を動かして距離を延ばし、車上の蜜から巣までの距離とダンスの関係を明らかにしました。



「８の字」ダンスをするミツバチ



ミツバチにマーキングをしているようす



ダンスの測定中

◆

これらの実験から、ニホンミツバチはセイヨウミツバチよりも近距離の蜜源を多く訪れることが分かりました。先生方や多くの仲間の協力を得て研究をまとめられたことは、私にとってかけがえのない思い出です。

現在の仕事でもこの経験を活かし、いきものの魅力を伝えられる人になりたいと思います。

新入会員のご紹介 ようこそ日造協へ！

社名 / 住所 ☎	代表者 /FAX
三品（みしな）造園土木㈱ 栃木県鹿沼市富岡 447 ☎0289-64-3736　FAX 0289-64-2231	三品 敏行



社名 / 住所 ☎	代表者 /FAX
㈲三田（みた）植木 神奈川県川崎市高津区向ヶ丘 61-3 ☎044-877-3472　FAX 044-877-4034	三田 伸裕



社名 / 住所 ☎	代表者 /FAX
㈲和田造園 広島県広島市西区高須 3-4-28 ☎082-271-3436　FAX 082-271-3483	和田 拓治郎



日造協賛助会員の紹介　㈱フルキャスト
造園業界の未来を支えるパートナーとして

この度、日本造園建設業協会に賛助会員としてご入会させていただくこととなりました、株式会社フルキャストです。人材会社としては本協会初の加入となります。

昨今、造園業界におきましては、技能者の高齢化や若手入職者の減少をはじめとする人手不足、さらには繁忙期における柔軟な労力確保など、人材面にまつわる課題が深刻化していると伺っております。

当社はこれまで、全国規模のネットワークを強みに、多様な雇用ニーズに応じる総合人材サービスを展開してまいりました。今回、本協会の一員としてお迎えいただいたことを大変光栄に思うと同時に、全国の会員の皆様が直面されている現場の課題やお悩みに、少しでもお役に立ちたいという強い思いを抱いております。

地域の現場で汗を流す皆様のお声に耳を傾けながら、全国的な人材手配や業務効率化の面で誠心誠意ご協力させていただく所存です。

造園業界の持続的な発展と、魅力ある職場環境づくりに寄与できるよう全力で取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

㈱フルキャスト
法人様向け
サービス案内・お問い合わせ TOP
https://www.fullcast.co.jp/business/
〒141-0031 東京都品川区西五反田 8-9-5
FORECAST 五反田 WEST 12F
電話 03-4530-4848 FAX 03-4530-4868

FULLCAST HLDGS.

事務局の動き

【11 月】
5 ㈬・広報活動部会
6 ㈭・造園・環境緑化産業振興会　代表者会議・国交省との意見交換会
8 ㈰・第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波 閉会式
9 ㈪・財政運営制度あり方検討会議
10 ㈫・総支部・支部交流会（北陸）
13 ㈭・総支部・支部交流会（四国）
24 ㈫・総支部・支部交流会（北海道）
・岡山県立岡山工業高校出前講座
26 ㈬・登録造園基幹技能者講習（東京）～27 ㈭
27 ㈭・総支部・支部交流会（中部）
30 ㈪・広報活動部会

【12 月】
3 ㈬・運営会議
・2027 年国際園芸博覧会特別委員会
4 ㈭・中国・甲信総支部と中国地方整備局との意見交換会
・技能五輪全国大会～７㈪
9 ㈫・福島県立磐城農業高校出前講座
・総支部・支部交流会（近畿）
10 ㈬・街路樹剪定士・緑地樹木剪定士認定委員会（試験部会）
14 ㈰・植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
15 ㈫・青森県立五所川原農林高校出前講座
・技術委員会（全国）
16 ㈬・青森県立弘前高等技術専門校出前講座
17 ㈬・街路樹剪定士・緑地樹木剪定士認定委員会
22 ㈫・植栽基盤診断士認定委員会

委員会等の活動

●広報活動部会
10/6 日造協ニュース 10 月号の内容確認、2026 年 12 月までの記事構成、新春号について審議
●造園技術フォーラム
10/8 造園技術フォーラムを京都で開催。現地約 150 名、WEB 視聴者約 130 名が参加
●総務委員会
10/16 グリーンインフラ官民連携プラットフォームグリーンインフラ産業展実行委員会で産業展 2027 の企画について審議
●技術委員会
10/26 厚労省へ訪問し、造園ワークポジショニング作業について普及状況などを報告
●全国造園デザインコンクール等推進部会
10/14 国際園芸博覧会プラン賞審査会や 1 月の審査会・表彰式について検討
●デザコン国際園芸博覧会プラン賞　審査会
10/15 応募作品 213 点を審査し、受賞の 4 作品を選出した。
●事業委員会（全国）
10/16 今年度の事業報告（中間）と今後の事業計画について審議。要望活動や入職促進などについて意見交換
●資格制度委員会（全国）
10/23 今年度の事業報告（中間）と今後の事業計画について審議。資格の活用などについて意見交換
●登録造園基幹技能者講習
10/28,29 大阪会場で実施。受講者 12 名
●造園領域発展戦略委員会
10/19 令和７年度の事業報告と令和８年度の事業活動について検討

編集後記　9月中旬から駅やコンビニでポスターをみかけます。ホームセンターではチケットが買えるようになり、オフィシャルストアでかわいいグッズも買えます。地球と咲きに行く日が近づいてきてますね。とても楽しみです。